

花巻ファーマー



岡田 知穂 さん
(石鳥谷町新堀 53歳)

家族で農業を営む岡田知穂さんは、極力農業に頼らず「安全・安心」にこだわったコマや野菜を栽培しています。中でも評判なのが、3棟のビニールハウスで栽培しているピーマン。露地栽培より柔らかくて甘いピーマンができる」と岡田さんは話します。ピーマンのおいしさを覚えて欲しいとの思いから、20年ほど前に受け入れを始めた小学生的の農業体験。ピーマンが苦手な子どもにも好評で、食べずに帰った子どもはほとんどいなかったそうです。



青々と育った岡田さんのピーマン。朝・夕に収穫されます

「子どもたちには、採れたてのピーマンを食べて生で提供したり、シンブルに塩をまぶし焼いて提供したりしている」と岡田さん。ピーマン本来のおいしさに子どもたちは驚き、好きになってももらえることも多いと笑顔で話します。岡田さんが収穫したピーマンはJAいわて花巻に出荷されているほか、市内外のイベント会場でも販売されています。「花巻農業女子プロジェクト」を通じてイベント出店を始めました。これからも仲間と一緒に消費者の顔の見える対面販売を続けていきたい」と意欲を見せています。*農業に興味のある市内の女性に結成したグループ。イベント出店や研修会、異業種交流などに取り組んでいます

広げよう 活動の輪

市民活動団体紹介

日本初の食べ物付き情報誌を創刊 東北開墾

平成25年に設立された「東北開墾」は、担い手不足や高齢化など、一次産業の課題解決に向けた活動を展開しています。

同団体は、日本初となる食べ物付き情報誌「東北食べる通信」を創刊。東北6県から毎月1人、農家や漁師を取材し生産者や食材の魅力を全国約1200人の読者に発信しています。

同誌は全国でも話題になり、各地域の企業や団体がその理念に賛同。平成30年7月現在、全国35地域のほか、台湾4地域でも「食べる通信」が発行されています。

東北開墾は本年度、市と連携し首都圏と花巻をつなぐ事業を企画。本市の農作物や観光資源などを活用し、新たな交流を生み出します。



1_東北食べる通信 2_取材の様子 3_東北開墾の皆さん

【問い合わせ】
NPO法人 東北開墾
専務理事 阿部 正幸さん
(info@taberu.me)

市民生活コーナー

不安をおおって契約させるリフォーム工事に注意を!

■どんな相談があるの?

○業者が「住宅の屋根や床下を無料で点検します」と突然自宅を訪問してきた。「このままでは大変なことになる」と不安をおおることを言われ、必要のないリフォーム工事や清掃サービスの契約をさせられた

○業者が「住宅の屋根や床下を無料で点検します」と突然自宅を訪問してきた。「このままでは大変なことになる」と不安をおおることを言われ、必要のないリフォーム工事や清掃サービスの契約をさせられた

■注意することは?

○「点検させてほしい」と訪問してくる業者は対応しないようにしましょう

○火災保険金は必ず支払われるものではありません。保険金を前提とした修理を持ち掛けてくる業者との契約は避けましょう

○点検を依頼した場合でも結果をうのみにせず、冷静に受け止めることが大切です。別の専門家に確認して複数の見積もりを取るなど、決してその場で契約しないようにしましょう

■困ったときは?

○新館市民生活総合相談センター(☎2421111)内線259へ

COLUMN:Health

健康コラム

糖尿病を理解するシリーズその1 「血糖値」ってなあに?

私たちの体は、食べ物から栄養を取り、エネルギーに変えて生きています。このエネルギーのもとになるのが「ブドウ糖」です。「血糖値」とは、その文字の通り血液中にブドウ糖がどのくらい含まれているかを示す数値です。



血糖値は、食事をすると高くなりますが、すぐに下げる機能が働き、一定の範囲に保たれています。しかし、中には調整がうまくいかず、血糖値が高いままの人もあります。この状態が「高血糖」です。

血糖値の調整には「インスリン」というホルモンが深く関わっていて、ブドウ糖をエネルギーに変えるためにとても大切です。高血糖が続く人はこの「インスリン」の量や働きに問題があるといわれています。



血糖とインスリンの関係については、次回のコラムでお伝えします。ぜひ、お楽しみに!

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

地域おこし協力隊

- 農業分野担当 山田 恵里 -

花巻も夏が多くなり、色んなところでイベントが開催されるようになりましたね。私が関わっている花巻農業女子プロジェクトチーム「農花(のうか)アグリヴィリーノ」の活動も、今年に入ってより活発になりました。5月には「日本ワインフェスティバル花巻大迫」に初出店。メンバーのよりすぐりの野菜を、ワインのおつまみにピッタリな特製ピクルスにして販売しました。トマトや干しシイタケ、ピーマン、ダイコン、ニンジンなど…メンバーが栽培している野菜がこんなにもおしゃれになるなんて、参加した私もメンバーのアイデアにビックリです。

会場のお客様には「さっぱりとしたものが欲しかったのよね」と男女問わず大好評でした。また、今回からメンバーの顔写真入りのPOPを掲示し、より花巻の野菜に親しみを持っていただけよう工夫しました。さらに6月16日・17日にはカワトクキューブII(盛岡市)に出店しました。初めての盛岡進出に私もドキドキでしたが、天気とお客様に恵まれて、幸先のいいスタートが切れました。

本年度は私たちに「初めて」が多い年になりそうです。今後も「農花アグリヴィリーノ」の活躍を注目してみてくださいね!



一緒にワインフェスティバルに参加したメンバーです